



地域に関わる 積極性を大切に

令和4年3月着任
埼玉県出身
宇佐美 慈 さん



空家バンク
ホームページ

着任前は、栃木県下野市の地域おこし協力隊として活動していた宇佐美さん。現在は、都市再生推進法人(株)テダソチマで、空家バンク運営業務を担当しています。また、首都圏で開催された移住に関するイベントに参加するなど、移住者目線で本市の魅力を伝えていきます。

着任時に見た釈迦堂川の桜が好きになり、夜のライトアップの雰囲気に魅力を感じたそうです。



須賀川の魅力を 全国へ

令和4年5月着任
本市出身
本田悠真 さん



Instagram

観光交流課や観光物産振興協会のサポートのほか、市の観光と特産品のPRをメインに活動する本田さん。市内の注目スポットやグルメなどを取材し、その魅力をInstagramで発信しています。また、ウルトラFMの火曜午前11時のレギュラーとしても活躍しています。

地域とのつながりを深め「須賀川の魅力を全国に発信する人」を目指して活動しています。



私たちが 「地域おこし協力隊」



まだまだ新たな チャレンジを



Twitter

令和元年6月着任
東京都出身
若月正孝 さん



コミュニティプラザでの観光案内や、県内外での物販を中心に、観光資源が豊富な本市の魅力を伝えている若月さん。令和3年には、自宅のお風呂で藤沼温泉が楽しめる「温泉の素」の製作にも携わりました。



畑での野菜づくりが趣味で「収穫した野菜を実家に送ると、家族に大変喜ばれます。春夏秋冬どの季節でも楽しめる牡丹園が大好きです」と語っていました。

をいただき、やりがいを感じました。また、地域の方や移住者の方と関わる中で、知らなかった須賀川の良さを知ることができ、毎日楽しく活動しています。

本田さん Instagramのフォロワーが1000人を超えました。フォロワーからは、須賀川のすてきな場所を知った喜びや、市外にいても自分の育った町が見れることへの感謝の言葉をいただきます。このような温かい言葉をいただきながら、のびのびと活動

できるところが魅力だと感じています。

—— **今後の目標** ——

若月さん 須賀川駅をもっと盛り上げていきたいです。駅は幅広い年代の方が利用していますが、学生や若者がより興味を持つような企画を提案できればと思います。プライベートではキュウリ栽培など、もっと農業にチャレンジしたいです。

宇佐美さん 空家バンクの登録が増えるように制度のPRなどをしていきたいです。また、都内の移住フェアに参加した際に、須賀川の認知度がまだまだ足りないと感じました。多くの人に須賀川を知ってもらえるよう、今後の活動も頑張りたいです。

本田さん 今の目標は「須賀川の魅力を全国に発信すること」ですが、将来的には世界へ向けて発信していきたいです。また、地域の方々とのつながりを深め、いざというときに頼ってもらえるような、須賀川を引っ張っていける存在になりたいです。



—— **応募したきっかけ** ——

若月さん 家業を辞めて職を探している時に、東京で開催された移住フェアに参加しました。須賀川市ブースでアピールを受け、須賀川の良さを知り、協力隊に応募しました。初めての地方暮らしで毎日面白いです。

宇佐美さん 栃木県下野市の地域おこし協力隊を卒業する際に、不動産や空家バンクの仕事に就きたいと思っていました。また、福島県出身の妻から、須賀川は花火大会が有名なことや、市内にカフェが多いことなどを聞き、良い



自分の思いやこれからの活動を語る3人

—— **活動のやりがい・魅力** ——

若月さん 新型コロナウィルス感染症によるイベント中止など、観光客が減ってしまいましたが、昨年あたりから増えつつあります。須賀川の魅力を伝える立場ですが、観光客から自分が知らない魅力や、教えてもらうこともあり、様々な方と話ができて楽しいです。

宇佐美さん 移住に関するイベントを運営したとき、参加者の方から「満足した」との声

魅力伝える力

地域おこし協力隊の活動



現在3人の「地域おこし協力隊」が、市内で活動しています。若月正孝さん、宇佐美慈さん、本田悠真さんに応募したきっかけや、活動して感じていることを語ってもらいました。

企画政策課 ☎(88)9131

地域おこし協力隊とは

都市地域から人口減少や高齢化などの進捗が著しい地域に移住し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの「地域おこし支援」や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る国の制度です。

で発信したいと思い、応募しました。毎日Instagramを更新しています。